

ばんどう
政策特集
2023

令和5年10月5日発行

BANDO

坂東の今がわかる!



写真：圏央道(仮称)坂東パーキングエリアと地域利便施設整備予定地



圏央道で整備が進められている(仮称)坂東パーキングエリアとの一体的な整備を計画している「坂東市地域利便施設」について、坂東市の魅力を県内外に発信するなど、より高い整備効果が期待できる「ハイウェイ・オアシス」としての整備を目指し、やすらぎのある安全・安心な地域活性化拠点づくりを進めていきます。



イメージ図

県内初、圏央道初の
「ハイウェイ・オアシス」を
目指します!



こんな事業にも
取り組んでいます!

- 新生児応援給付金の支給
- すこやか医療費助成事業(18歳以下)
- 病後児保育・体調不良児保育
- 第3子以降の給食費負担軽減(小学生全額免除・未就学児一部補助)
- 美味しい給食に向けた取り組み
- ICT(情報通信技術)を活用した学びの充実
- 放課後児童クラブの充実
- コミュニティ・スクールの導入
- 学校施設長寿命化計画に沿った取り組み

給食費の半額補助

保護者負担を軽減するため、令和5年度は「地方創生臨時交付金」を活用して、学校給食費を半額にしています。



長須小学校 1年生

坂東清風高校に資格取得支援

市内唯一の高校の魅力向上を応援するため、各種資格検定の受験料や講習の受講料の半額を補助しています。



総合学科 3年 野村さん

自分の実力や限界を知りたいと思って検定試験を受け始め、2年間で7個の資格を取得しました。受験費用の半額補助は経済的な負担が少なくなり、家族も助かると話しています。失敗を恐れず前向きにいろいろな資格に挑戦でき、自分の可能性を広げることができます。また、資格を取得することで自信にもつながっています。今後も将来のために頑張ります。



工業団地の整備と企業誘致の推進

地元就業の場と安定財源を確保するため、工業系地区計画を策定し、茨城県を事業主体とした新たな工業団地の開発を行い、優良企業の誘致に努めています。

*令和5年4月1日現在の雇用者数
つくばハイテクパークいわい 2,483名(市内582名)
坂東インター工業団地 1,116名(市内204名)



「フロンティアパーク坂東」整備予定地(坂東市山地区)

こんな事業にも
取り組んでいます!

- 神大実地区地区計画区域の工業的土地利用の促進
- 坂東インターチェンジ周辺の有効な土地利用の促進
- 坂東インターチェンジアクセス・関連道路の整備
- 芽吹大橋4車線化に向けた関係機関への要望活動
- 東京直結鉄道(地下鉄8号線)の誘致促進
- 農業の担い手確保と営農支援
- 地元産品のトップセールス

産業経済交流施設(旧下総利根大橋料金所事務所跡地)の整備に向けた検討

整備に向けた検討

農家の販路拡大による所得向上、観光情報発信、市内商店の紹介などを推進し、地域間交流活動を活性化するため、「産業経済交流施設運営方針検討委員会」を発足しました。様々な見識をお持ちの20名の委員の皆様にご意見を伺いながら、近隣の利根渡良瀬サイクリングコースを活用するなど、魅力のある施設づくりとにぎわいづくりの検討を進めています。



産業経済交流施設運営方針検討委員会

誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進めています

坂東市の未来をつなぐ

仕事政策

暮らし政策

子ども政策

高齢者障がい者政策

公共交通利用券で外出支援

高齢者や障がい者、運転免許証の自主返納者の外出を支援するため、申請により市内公共交通機関の利用券を1万5千円分交付しています。

対象となる方

- ひとり暮らし高齢者
- 交通手段を持たない75歳以上の方のみ世帯
- 障がい者※
- 運転免許証を返納した65歳以上の方(1回のみ)



対象となる公共交通機関

- | | |
|---------------|--------------|
| ① タクシー | ② デマンドタクシー |
| ③ コミュニティバス坂東号 | ④ 巡回バス(昭和観光) |

※身体障害者手帳1級・2級・1種3級、療育手帳(A)・A、精神障害者保健福祉手帳1級・2級をお持ちの方

こんな事業にも
取り組んでいます!

- 地域包括支援センター運営事業
- 認知症初期集中支援推進事業
- 生活支援体制整備事業
- 高齢者福祉事業
- 愛の定期便事業(乳製品配達による安否確認)
- 企業等との見守り協定の締結
- こども発達センター運営事業
- 障がい者福祉増進事業
- デマンドタクシーの運行(市内、茨城西南医療センター病院、さぬ医師会病院、水海道西部病院)

緊急通報システムで見守りの充実

ひとり暮らし高齢者の見守り体制の充実を図るため、急病・事故等の緊急時に、消防本部へ瞬時に通報できる緊急通報システムの貸出しを行っています。



倉持さん

以前自宅で体調を崩したとき、緊急通報システムで連絡をして救急車で搬送してもらいました。入院して手術が必要な状態だったので、本当に助かりました。何かあったときにはすぐ対応してもらえるので、毎日安心して暮らしています。緊急通報システムは心強い味方です。

工業団地で働く方に移住定住奨励金を支給

工業団地の人材確保の支援、企業誘致の推進、移住定住の促進のため、坂東市に移住して市内の工業団地で働く方に対し、2年以上住むことを条件に最大12万円の奨励金を支給しています。



谷仲さん

工業団地の会社へ就職が決まり、県外から引っ越してきました。奨励金については会社から教えてもらい、さっそく申請して生活費に充てました。これまでこういった制度を利用したことがなかったのですが、会社からの家賃補助とは別に市からも補助をいただけるのはとてもありがたいです。

子育て世代のUターン・Iターンを応援



古矢さんファミリー

定住人口の増加と地域活性化のため、市外から転入し住宅を取得された子育て世代の方に、最大30万円の奨励金を支給しています。

子どもが生まれたのでUターンして坂東に家を建てたいと思い、準備を進めていたところ、この奨励金のことを知りました。手続きもそれほど大変ではなく、いただいた奨励金で家具や家電を購入しました。金額も大きかったのでとても助かりました。

こんな事業にも
取り組んでいます!

- 災害情報の発信力強化
- 災害・防災協定の締結
- 市民協働によるまちづくりの推進
- 計画的な道路整備と橋りょうの点検・修繕
- ヤード(自動車解体施設)などの土地利用の適正化
- 公共交通の利用促進
- 既存公共施設の有効活用
- 空家等対策計画に沿った取り組み
- 地籍調査事業の推進
- 地方債現在高減少への取り組み
- 円滑な新型コロナワクチン接種の推進

にぎ 歴史遺産を活用した賑わいづくり



重要な歴史遺産である平将門公関連施設の整備を支援し、観光資源の有効活用と市のPRを図ります。

今年度は、國王神社のトイレ整備と茅葺屋根修復の支援を行います。



國王神社での戦勝祈願

将門まつりは今年50回を迎えます!



ふるさと納税の拡充



坂東市特産品のPRや地域経済の活性化を目的に、ふるさと納税事業を強化しています。

「ふるさと納税返礼品開発協議会」を発足し、委員の皆様のご協力をいただきながら、魅力ある返礼品の充実に取り組んでいます。

企業版ふるさと納税についても、持続可能なまちづくりに向けた活用に対して積極的にPRしています。



写真：坂東インターチェンジ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは

2015年9月の国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた、2030年を年限とする17の国際目標です。

ごあいさつ

坂東市では、「みんなでつくる やすらぎと生きがい 賑(にぎ)わいのある都市(まち) 坂東」をまちづくりの基本として、市民の皆様の思いや願いに寄り添いながら、子ども・高齢者・障がい者・仕事・暮らしなどの施策に取り組んでいます。

本年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更となり、コロナ以前の生活を取り戻しつつあるところですが、坂東市におきましては物価高騰の影響を受けている市民の皆様や各種事業者の方々の支援に取り組むとともに、圏央道で整備中の(仮称)坂東パーキングエリアと連結予定の「坂東市地域利便施設」を都市公園に位置付け、「ハイウェイ・オアシス」としての整備を目指して、地域活性化のための拠点づくりを進めています。

今回発行する「ばんどう政策特集2023」では、市が取り組んでいる重要な事業や新しい事業などを中心にご紹介いたします。事業の内容や利用者の声をお知らせすることで、より多くの皆様にご活用いただきたいと考えております。

引き続き、市民の皆様の深いご理解とご協力のもと、SDGsの概念に掲げる「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向け、より一層の信念をもって市政運営に誠心誠意努めてまいります。



令和5年10月 坂東市長 木村 敏文

★本紙に掲載した内容は各施策の概要になります。



発行/坂東市 編集/政策調査課

〒306-0692 茨城県坂東市岩井4365番地 ☎0297 (35) 2121 / 0280 (88) 0111

ホームページアドレス <https://www.city.bando.lg.jp/>



坂東市
ホームページ